

元会長・元副会長追悼号

天寿を全うされ 天に召された麦島博昭元会長

麦島博昭氏は、平成5年9月25日の旧高鷲町役場で高鷲文化財保護協会の準備委員会立ち上げて以来、平成22年4月までの17年間にわたり会長職を勤められ、会の発展と軌道に貢献されました。しかし、令和5年2月17日に天寿を全うされ不帰の客となりました。享年95歳。日頃から「私は百歳まで生きる」といわれ、昨年末に「会報・高鷲の文化55号」を鷲見上野にあります介護施設「お日さまの大地」へ持って行きました時、お元気そうに話されていました。

会長職の17年間には、町内の文化財の発掘やその保存、さらに民具の收拾に尽力され、その保管場所を旧中学校の特別教室にされました。だが、この校舎は手狭だったことと取り壊されることになったので民具類は旧鷲見分校の校舎に文化財保護協会の皆さんと協力して移転したことが思い出になっていると話されました。

さらに麦島氏は、文化財保存清掃奉仕活動や地域内研修や県外研修など数多くの事業を計画し実行され、会員を増加させました。

平成28年4月24日には念願でありました高鷲開拓記念館が完成し、民俗資料も展示することになり郡上ケーブルテレビの取材にもこやかに対応されておられましたことが印象的に残っています。

一方、郡上郡各町村の文化財保護活動にも力を入れられ、郡上市文化財保護協議会を立ち上げられ、初代会長に就任されました。

文化財研修にも会員の親睦を図る意味から積極的に力を入れられ、野麦峠、古川町起太鼓、比叡山延暦寺、富山方面、斎宮歴史博物館、広隆寺など数多くの事業を計画され、また郡上市文化財保護協議会と共催で、蛭ヶ野散策研修を計画・実施されました。その時の写真が下記の通りです。心からご冥福をお祈りします。「ありがとうございました」



写真中央が麦島博昭氏、また多くの懐かしい顔が見られます。

天寿を全うされ 高鷲の文化財発展に貢献された 山田幸男元副会長

山田幸男氏は麦島博昭氏と同様に高鷲文化財を立ち上げられ、以来、副会長として会長を補佐されてきました。しかし、令和5年2月21日に天寿を全うされ不帰の客となりました。享年95歳。初代の会長と副会長がほぼ同時に御逝去されたことは何か運命的な感じがしますと同時に文化財保護協会の一つの時代は終わったという感じもしています。

山田先生は、岐阜県学校職員として長年勤められた後、高鷲村教育委員会文化財専門員として、文化財の発掘や、民俗資料や民具の収集に努められてこられました。それらを旧鷲見分校校舎に保管され、整理されてこられました。なお、その数は何万点にも及びます。

また副会長として研修旅行には見学先の寺院の解説資料や案内・説明をされ、夜は宿舎でカラオケをされ、お得意の歌を熱唱されると、皆さんから喝采をあげ大いに親睦が図られました。

さらに、江ノ島へ研修に行った際、先生の教え子だった人に「江ノ島は懐かしいなー！この前来た時と大きく変わったなー！」と。そこで教え子だった人は「先生、この間とは何時の時ですか？」と聞き返したら、先生は「君が修学旅行の時だよ！」と言われ、先生にとって、この前とは60～70年ほど前のことらしい。

本当に良い先生で在り、良き先輩でした。心からご冥福をお祈りします。



旧鷲見分校での作業風景



法隆寺夢殿前研修、中央に山田幸男氏